

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

ワークショップ実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 BOX4628
公演団体名	一般社団法人 善竹狂言事務所

内容
<p>※感染拡大防止対策として、通常版からの変更箇所を赤字で記載しております。 学校に伺う前の対策として、2週間前からの検温、ワークショップ当日の検温。 また学校へ入校の際の検温、消毒。 アルコールスプレー、除菌シート、ビニール手袋の準備 指導者はマスクを着用してワークショップを進めます。</p> <p>【1時限目】 <u>全校児童・生徒対象</u></p> <p>●実施形態及び内容</p> <p>① 指導者による、能楽の歴史や、能の成り立ちと狂言について基礎的なことについて、アイスブレイクの手法の一つ、クイズ形式で、お話をすすめます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 能楽ってなんだろう？ 怖い！楽しい！悲しい？・ いつ頃何時代、どこで、誰が、何のために始めたのか？・ どうやって今現在に伝わってきたのか？・ 今はどんな人が演じているのか？・ <small>のうめん きょうげんめん</small> 能面、狂言面を、それぞれ4面ずつ使って、面の名前や、使われる演目を紹介しながら、歴史やストーリー性の違いを知って頂きます。 <p>② 児童・生徒のみなさんに、演者の基礎的な動きを体験してもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 始めに児童・生徒のみなさんに、前後2m程度の広めの間隔空けてもらい、前を向きます。・ 基本動作・・・立つ（構え）→ 前に歩く（運び）→ 止まる（構える） <p>③ 児童・生徒のみなさんに、セリフや感情表現の体験をしてもらいます。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 始めに児童・生徒のみなさんに、前後2m程度の広めの間隔空けてもらい、前を向きます。・ 指導者によるセリフの実演、 曲目「柿山伏」の曲中の一部分です。・ 児童・生徒のみなさんにセリフを区切り、抑揚やリズムなど指導しながら、セリフを通して言えるまで、繰り返して行います。・ 感情表現・・・「笑う」 指導者の実演を真似て、繰り返して行います。 <p>④ 感想や質問コーナー・質疑応答 「ワークショップの内容を振り返る」</p>

ワークショップ 1 時限目の最後に、指導者と児童・生徒で会話によるコミュニケーション用いて、ワークショップの内容を振り返ります。形式は、感想や質問なんでも結構です。指導者からの児童・生徒のみなさんへの質問もごさいます。

●ワークショップの効果予想と、本公演との関連性

①から④の順でワークショップ 1 時限目をお送りすることで、初めて能楽について学び、狂言を体験する、そうしたことで児童・生徒みなさんに、能楽の魅力を知ってもらい、演者の様々な技術的な体験をすることで、本公演の興味関心を促し、鑑賞能力の向上に繋がりたいと考えます。

【2時限目】 代表児童・生徒対象

●実施形態及び内容

本公演に於いて、代表児童・生徒と、出演者との共演曲目、大藏流 狂言 『菌』を、お稽古する時間とさせていただきます。

お稽古中も適宜、密にならないよう、こまめに声掛けをしながら進めます。

① 始めに狂言『菌』のあらすじをお話しします。物語の筋を覚えてもらい、代表児童・生徒が演じる役柄、キノコについてお話しします。

② 代表児童・生徒全員に白足袋を履いてもらいます。

その中から 1 名、本公演で演じるキノコの役柄の姿になってもらい、皆さんに共演時の格好をイメージしておいてもらいます。(衣装を着る・笠をかぶる・白足袋をはく)。次に、キノコの動き方を練習してもらいます。

つづいてセリフを声に出してもらい、動きと合わせて練習します。

※代表児童・生徒全員が白足袋を履いて、お稽古します

③ 本公演で上演出るよう指導者と一緒にお稽古を繰り返かし、通して出来るまでリハーサルを行います。通して出来るようになれば終了です。

④ ワorkshop 2 限目の最後に、指導者と児童・生徒で会話によるコミュニケーション用いて、ワークショップの内容を振り返ります。形式は、感想や質問なんでも結構です。指導者からの児童・生徒のみなさんへの質問もごさいます。

●ワークショップの効果予想と、本公演との関連性

指導者と代表児童・生徒だけのワークショップの時間となります。このお稽古の時間に、指導者から演じること、体の使い方、声の出し方など細かく指導してもらいます。そうしたことで、代表児童・生徒が主体的に真剣に学ぶ姿勢を指導者から感じて欲しいのです。

また足袋を初めて履く、児童・生徒みなさんも多くいるのではないのでしょうか。

そして本公演での『菌』の共演までに、どんな工夫が出来るか等を考えてもらい、発想力を育むことに繋がればと思います。

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各学校の要望に柔軟に対応し、希望調書に沿った内容で、臨機応変に下記の対応などを行う予定です。

【対応策の例】

- ・時間の短縮 ・対象学年を減らす
- ・児童生徒と指導者におけるソーシャルディスタンスの実施

など

タイムスケジュール（標準）

ワークショップ開始、1時間前に学校到着し着替えと準備を行います。

1時限目：全校児童・生徒の方々を対象に行います。

2時限目：体験者代表による、狂言の練習時間になります。

終了後、着替えと片付けを行い、約30分程度で退校いたします。

※時間の短縮や対象人数の調整など、学校様の状況やご希望を伺いながら柔軟に対応いたします。

派遣者数

主指導者：1名

補助者：4名

スタッフ：1名

合計6名で学校に伺います。

学校における事前指導

令和3年度文化芸術による子供育成総合事業—巡回公演事業—

本公演実施計画書【コロナ対応版】

制作団体名	株式会社 BOX4628
公演団体名	一般社団法人 善竹狂言事務所

演目
<p>本公演曲目: 能 仕舞『羽衣』・ 狂言『柿山伏』・ 『菌』</p>
<p>プログラム</p> <p>【第1部】</p> <ul style="list-style-type: none">● 能楽、能について紹介とお話<ul style="list-style-type: none">・ 能の成立、繁栄、現代に至るまでの歴史、まつわる人物など・ 能舞台、役柄、演技、扇など● 能面、能装束について、紹介と体験● 曲目 仕舞『羽衣』の作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話 <p>● 上演曲目: 仕舞『羽衣』 クセ・キリ</p> <ul style="list-style-type: none">・ 作者: 未詳・ 題材: 「丹後国風土記(たんごのくにふどき)」逸文などに見える羽衣伝説
<p>【第2部】</p> <ul style="list-style-type: none">● 曲目『柿山伏』の作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話 <p>● 上演曲目: 大藏流 狂言『柿山伏』</p> <ul style="list-style-type: none">・ 種類: 鬼・山伏狂言、分類: 山伏狂言・ 監修: 善竹十郎 <p>● 曲目『菌』の作品紹介と、あらすじ、鑑賞方法のお話</p> <p>● 上演曲目: 大藏流 狂言『菌』 ★代表児童・生徒みなさんとの共演</p> <ul style="list-style-type: none">・ 種類: 鬼・山伏狂言、分類: 山伏狂言・ 監修: 善竹十郎

派遣者数

出演者：11名
スタッフ：5名
合計：16名

タイムスケジュール（標準）

9：00 学校到着 → 搬入 → 準備
※10：15～11：45の間に児童・生徒のリハーサル・出演者リハーサル
12：00～ 昼食
13：30～ 本番
15：00 本番終了 → 片付け
16：00 退校

※時間の短縮や対象人数の調整など、学校様の状況やご希望を伺いながら柔軟に対応いたします。

実施校への協力依頼人員

体育館が1階の場合は特にございません。2階以上の場合、搬入および搬出時のお手伝いのできる範囲でご協力いただけましたら幸いです。

演目解説

曲目：仕舞『羽衣』クセ・キリ

●あらすじ

三保の松原に住む漁師、白龍が、仲間たちと海岸の景色を眺めていると、松の木に引っ掛かる美しい衣を見つけます、白龍は持ち帰って宝にしようとして

それは天女の羽衣で、現れた天女は、羽衣がなくては天に帰れないと嘆き悲しみます。初めは返すつもりがなかった白龍でしたが、天女の嘆く様子を哀れんで、[舞を舞って見せてくれるならば、羽衣を返そうと言います](#)。喜んだ天女は羽衣を身にまとうと、のちの世に「駿河舞」の名で伝わるようになった月世界の神秘と美しさを称えた舞を舞います。

すると地上の風景も、天上界のように美しく映るのです。天女は地上に数々の宝を降らすと、やがて夕暮れの霞の中を、三保の松原から富士の高峰へ天高く昇っていきました。優美な明るさ、清らかさがただよう曲です。

●見どころ

・詞章「いや疑いは人間にあり、天に偽りなきものを」

天女は、羽衣がなければ舞うことができないと訴えますが、白龍は先に衣を返せば、舞を舞

わずに天へ上ってしまうのではないかと疑います。それに対して天女は「疑いを持つのは人間にのみあることで、天には偽りということはないのに」と答えます。その言葉に白龍は恥じ入り、衣を返します。

★人間の欲深さや正直であることの大切さが込められています。

・詞章「御願圓滿國土成就。七寶充滿乃寶を降らし」

謡の文句に合わせて天女が、夕映えの遠くの山を眺めるさま、国土を祝福し宝を降らす様子、浦風に羽衣をたなびかせ、夕暮れの霞の中を、天高く上っていくさまなどを舞います。天女が宝を降らすというめでたく、明るく趣のある作品です。

★天下泰平の願いが込められています。

曲目：狂言『柿山伏』

●あらすじ

修行の帰りで、空腹になった山伏が柿の木へ登り、実を食べていたところへ、畑主が見回りにきました。

木の陰に身を隠した山伏を見つけた畑主は、素知らぬ顔をし、あれはカラスだ、サルだと呼びかけるので、やむなく山伏もその鳴き真似をします。そして、トビなら空を飛ぶだろうと囃すのにつられ、つい飛ぼうとした山伏は墜落し、起き上がれなくなります。

笑って去ろうとする畑主を、祈りの力で呼び戻した山伏は、いったん自分を背負わせますが、すぐに振り落とされてしまいます。法力を身につけたはずの山伏が、自らの浅ましい行いのせいで、畑主に散々からかわれたうえに、痛い目に遭わされます。

●見どころ

舞台上に実際には見えない柿畑と柿の木と実ですが、山伏はどのように実際には無い柿の木に登ったように演じるのでしょうか、また山伏が畑主からかわれて、動物の鳴き真似をさせられるシーンがあります。なんの動物鳴き真似をさせられるのでしょうか、また鳴き声はなんと聞こえるのでしょうか

曲目：狂言『菌』

●あらすじ

ある男の家に得体の知れない大きな茸(きのこ)が生えて、取っても一夜のうちに元のように生えて気味が悪いので、男は法力の強い山伏を訪ねて祈祷(きとう)を頼みます。

山伏は男の家へやってきて、おもむろに祈祷を始めますが、茸は消えるどころか、祈れば祈るほどどんどん数を増していき、動き回っては山伏や男にとりつき、いたずらをしたりします。疲れ果てた山伏が、最後の気力を振り絞って祈ると、鬼茸が襲いかかってきたので、山伏はたまたま逃げ出してしまいます。

●見どころ

山伏の出で立ちの仰々しさと、祈祷の文句の滑稽さ、失敗したときのうろたえぶりなどとのギ

ヤップが大きく、笑いを誘います。

茸たちは、笠を被り、面を着け、両袖を胸の前に引き寄せて抱え込み、腰を落としてすり足で歩き回ります。奇妙な巨大茸を表現するのに、このような突飛なスタイルを生み出した発想は秀逸で、続々と登場する茸たちの姿は童話的でもあります

※本公演に於いて、仮設能舞台の脇にスクリーンを設置し、プロジェクターを利用し、タイトルやセリフなどを投影し、見やすく分かりやすく上演いたします。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、各学校ごとの要望に柔軟に対応し希望調書に沿った内容で、臨機応変に下記の対応などを行う予定です。

【対応策の例】

- ・時間の短縮　・対象学年を減らす
- ・児童生徒と指導者におけるソーシャルディスタンスの実施
- ・事前ワークショップが実施できなかった場合、本公演の演目を調整し全員での体験を取り入れる

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

●共演曲目 『菌』

ワークショップで指導者とお稽古をした、代表児童・生徒のみなさんと、体育館内に設置した、仮設の能舞台へ上がり、共演となります。

●配役は以下の通りです。

- ・シテ:山伏…大藏流 狂言方
- ・アド:何某…大藏流 狂言方
- ・立衆:菌…代表の児童・生徒
- ・小アド:鬼菌…代表の先生



代表児童・生徒のみなさんは、案内役の指示で観賞場所から移動して、パネルの陰で支度を行います。支度は衣装(羽織り物)に帯締め、履物は白足袋、頭にはまんじゅう笠を被ってもらいます。準備が出来たら、狂言『菌』の開演です。

★工夫ポイント

『菌』の共演以外の全校児童・生徒のみなさんも、体験する機会がございます。

【1部】

面をつける
謡を体験する

【2部】

名乗りを体験する

★体育館内に狂言で使われる衣装・小道具の展示なども行います。
休憩時間に鑑賞できるよう設置いたします。

児童生徒とのふれあい

終演後に学校側からのご意向があれば、能・狂言の装束を身に着けた出演者の皆さんとの記念撮影を行います。

終演後に代表者からの感想を聞いております。

感想文などがある場合は、出演者の皆さんに読んでいただきます。